

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H25.9.30現在)

	9月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成25年度(今年度)	7件	32件	1人	14人
平成24年度(昨年度)	9件	85件	1人	32人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

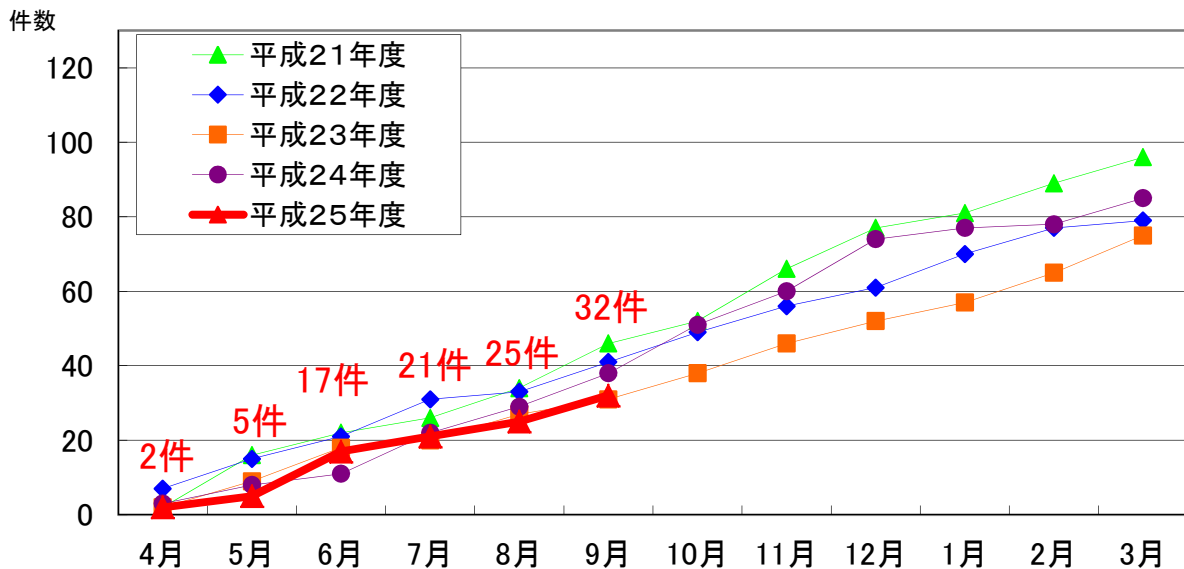
注2) 「9月発生件数」は、9/1～9/30の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成25年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

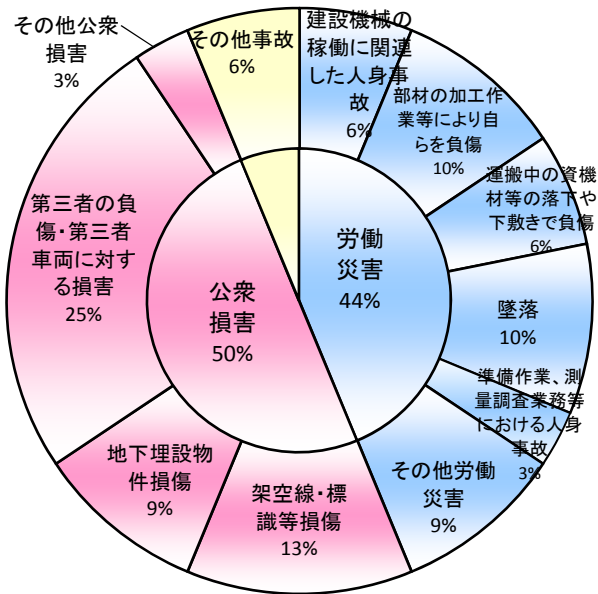
●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成21年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	17件 (12件)	21件 (4件)	25件 (4件)	32件 (7件)						

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

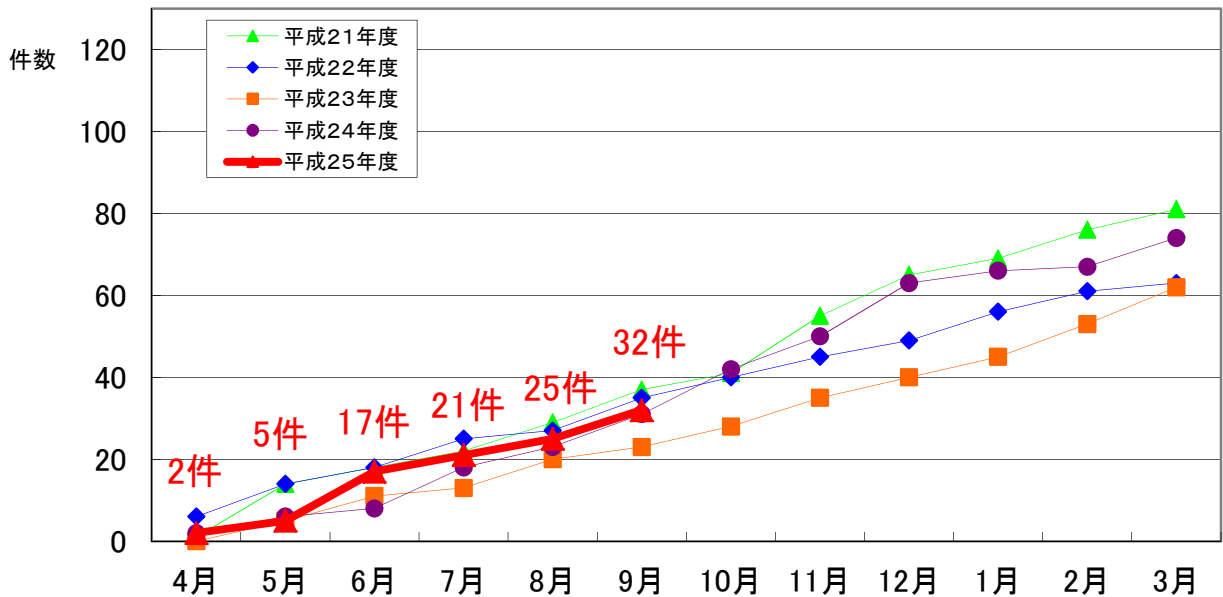
●平成25年度 工事事故発生状況(発生形態別)



発生形態		H23	H24	H25	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	4	7	2	13
	部材の加工作業等により自らを負傷	1	0	3	4
	運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷	5	9	2	16
	墜落	3	5	3	11
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	1	1
	その他労働災害	1	6	3	10
	小計	14	27	14	55
公衆損害	架空線・標識等損傷	9	10	4	23
	地下埋設物件損傷	8	7	3	18
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	22	19	8	49
	その他公衆損害	18	19	1	38
	小計	57	55	16	128
その他事故	3	3	2	8	
計	74	85	32	191	

● H25年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成21年度 累計	1件	14件	18件	22件	29件	37件	41件	55件	65件	69件	76件	81件
(月毎)	(1件)	(13件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(4件)	(14件)	(10件)	(4件)	(7件)	(5件)
平成22年度 累計	6件	14件	18件	25件	27件	35件	40件	45件	49件	56件	61件	63件
(月毎)	(6件)	(8件)	(4件)	(7件)	(2件)	(8件)	(5件)	(5件)	(4件)	(7件)	(5件)	(2件)
平成23年度 累計	0件	5件	11件	13件	20件	23件	28件	35件	40件	45件	53件	62件
(月毎)	(0件)	(5件)	(6件)	(2件)	(7件)	(3件)	(5件)	(7件)	(5件)	(5件)	(8件)	(9件)
平成24年度 累計	2件	6件	8件	18件	23件	31件	42件	50件	63件	66件	67件	74件
(月毎)	(2件)	(4件)	(2件)	(10件)	(5件)	(8件)	(11件)	(8件)	(13件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	17件	21件	25件	32件						
(月毎)	(2件)	(3件)	(12件)	(4件)	(4件)	(7件)						

■問合せ先:企画部 技術調査課 遠藤・桑田 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 25 年 9 月 3 日 (火) 13 時 50 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	—	—	—
事故概要	被災の程度		
	クローラクレーン転倒		
クローラクレーンの解体作業を行うため、現場で待機していたとき、クローラクレーンが横転したものの。			
その他事故			

事故発生状況



・クローラクレーンの解体作業準備のため、カウンター(2個)を外したあと、天候が悪化し近くで落雷が確認できたので、作業を中止し近くに駐車してあった車内に避難していたところ、晴れ間と同時に風向きが変わり突風が吹き、クローラクレーンが転倒した。

・作業手順書と相違した作業(1ブームを立てての解体作業、2ブーム解体前のカウンター撤去、3ブーム解体前のクローラ格納)を行っていた。

【事故発生原因】

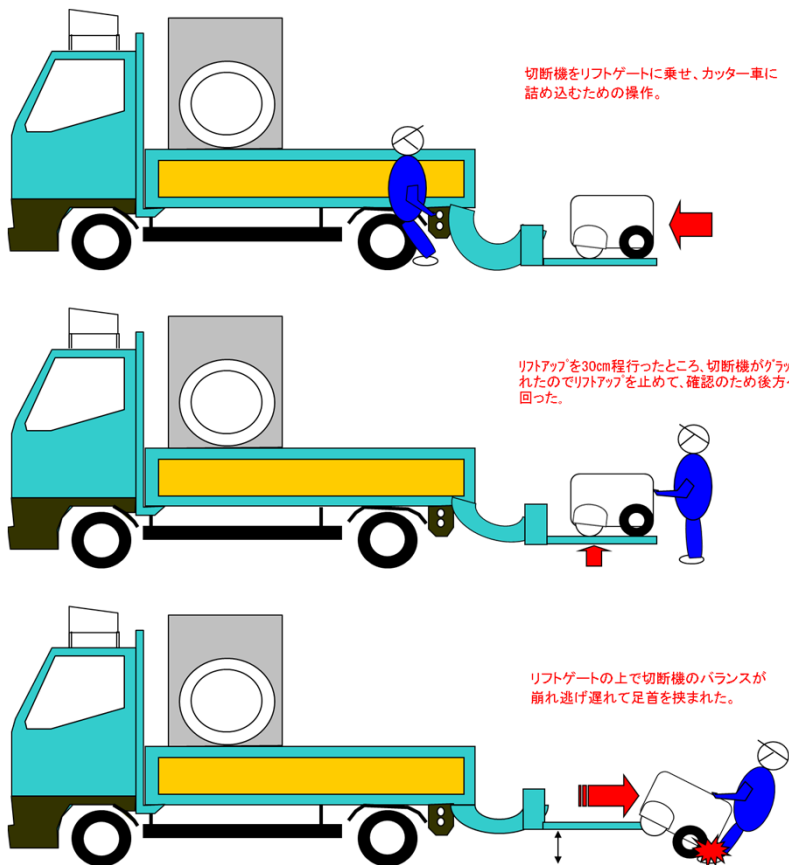
・作業手順書の周知・徹底不足。
など

【事故防止のポイント】

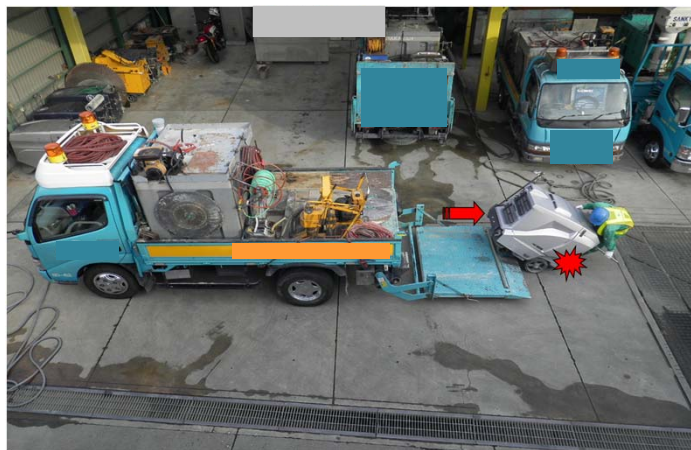
・作業手順書通りの作業を行うよう周知・徹底を行う。
など

発生日時	平成 25 年 9 月 11 日 (水) 22 時 20 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	65	カッター工	両足首打撲・骨折	
事故概要	舗装面の切断作業を完了し、切断機を収納しようとしてリフトゲートに切断機を載せてリフトを上げている最中にバランスが崩れ、後方にいた作業員の両足首が挟まれ、負傷したもの。				
労働災害-運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷					

事故発生状況



- ・橋梁補修工事において、上り車線側舗装面の切断作業を完了し、下り車線側舗装面の切断を行うために切断機を収納しようとしてリフトゲートに切断機を載せてリフトを上げた。
- ・30cm程度リフトを上昇させたところで、切断機のバランスが崩れ、ぐらっと揺れたため、リフトアップを中断し、確認のため後部へ回ったところ、被災者の足首へ切断機が落下した。
- ・リフトゲートに積み込み時にカッターのブレーキをかけ忘れていた。



【事故発生原因】

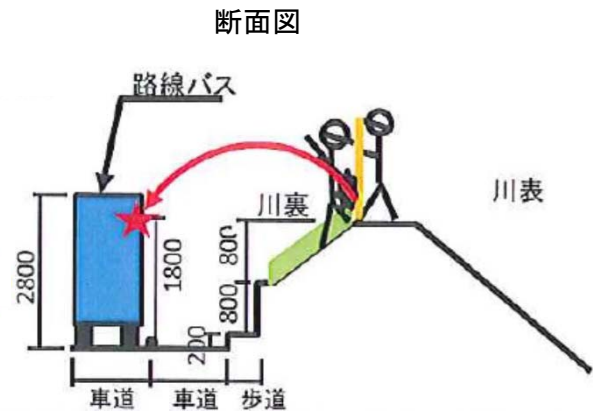
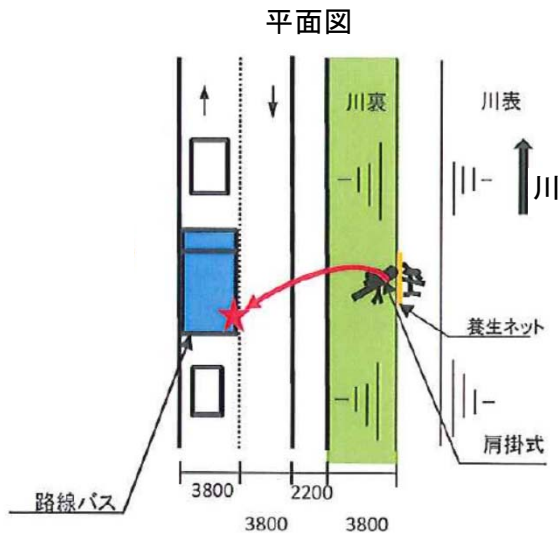
- ・作業手順書の周知・徹底不足。など

【事故防止のポイント】

- ・機械の安全な使用方法を作業員に周知・徹底する。など

発生日時	平成 25 年 9 月 12 日 (木)			8 時 35 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	路線バスの窓ガラス損傷		
事故概要	堤防天端付近を肩掛け式除草機にて除草作業をしていたところ、飛び石してしまい、渋滞で停車中の路線バスの窓ガラスに当たり、損傷させたもの。					
	公衆損害—第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

事故発生状況



- ・堤防天端を肩掛式刈払機で除草中、飛石が渋滞で停車していた路線バスの右側後方の窓ガラスにあたり、ヒビ割れた。
- ・養生ネットは堤防天端通行者側で行っており、車道側に養生ネットは設置していなかった。

【事故発生原因】

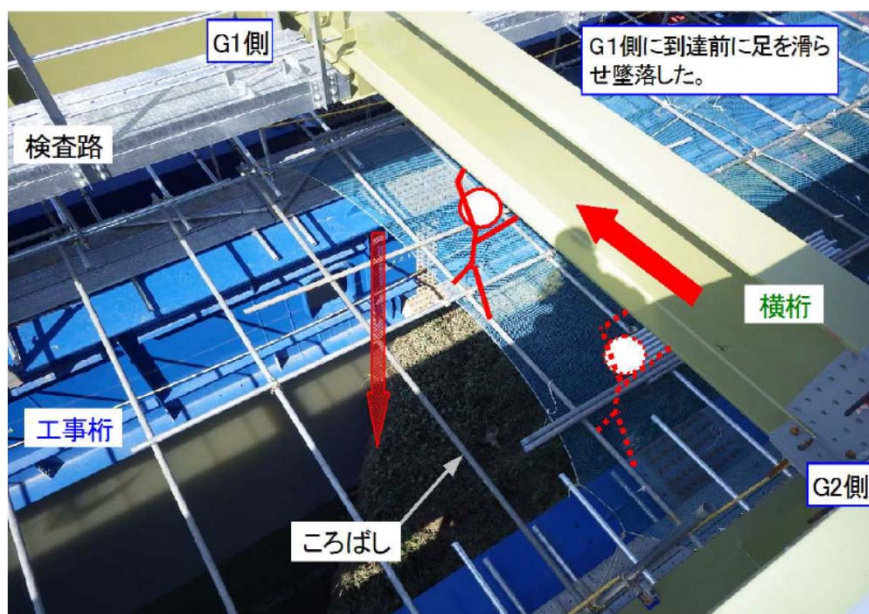
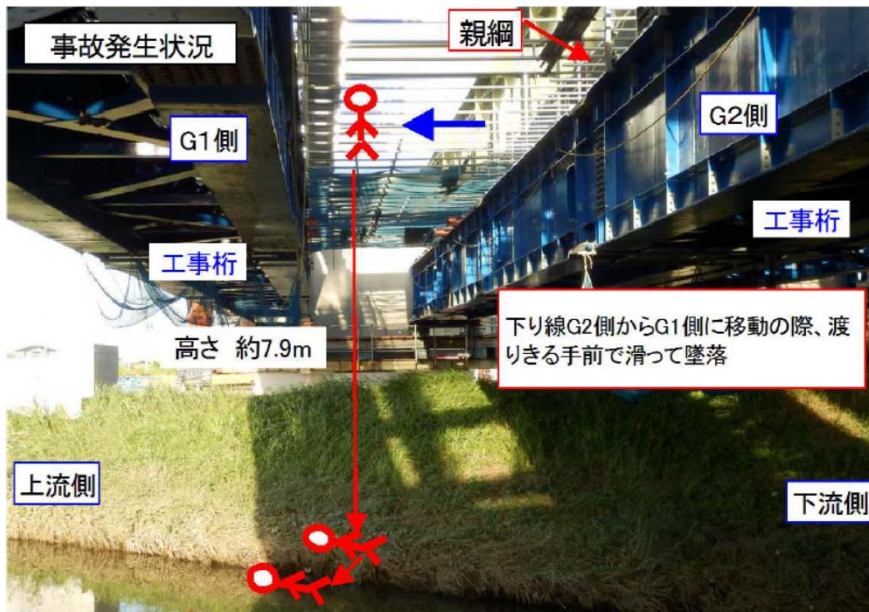
- ・車道側に養生ネットを配置していなかった。
- など

【事故防止のポイント】

- ・現地をよく確認し、現地に適した安全対策を実施する。
- など

発生日時	平成 25 年 9 月 17 日 (火) 16 時 5 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	60	鳶工	左目上裂傷、ほお骨骨折、左肩脱臼	
事故概要	作業員が吊り足場ネット張り中に工事用の仮設桁から河川法面に落下(およそ7m)し、負傷したものの。				
労働災害-墜落					

事故発生状況



・主桁下面足場組立中、被災者と共同作業者の2名でネットを設置していた。

・共同作業者がネット紐を取りに行っていたところ、被災者が自分側のネット張りが完了したので、反対側のネットを張りに行こうと横桁を手で掴み、ころばしの上を渡り、工事桁に足を乗せようとしたときに、墜落し被災した。

・被災者は2丁掛けの安全帯を着用し、ネット張り時は使用していたが、横断する際、親綱から外して移動した。

【事故発生原因】

・安全帯を使用せず、作業手順書にな
い行動をしたため。
など

【事故防止のポイント】

・安全帯を使用した作業を実施するよ
う周知・徹底を行う。
など

発生日時	平成 25 年 9 月 19 日 (木)			11 時 2 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	出張所壁面損傷		
事故概要	堤防除草作業においてミニバックホウと除草機械の入れ替え作業中に出張所構内の車庫への空中線及び支線をバックホウのアームで引っ掛け、車庫の壁面を破損したもの。					
	公衆損害—架空線・標識等損傷					

事故発生状況



破損箇所(壁面)

電話線

支線(電話線に負担が掛からないよう事故後に端部を屋根の上に移動)



支線

固定金具及び破損壁面



つかみ装置付き
バックホウ

・堤防除草においてつる草の繁茂が著しく、ハンドガイド式除草機では作業が困難であったため、0.1m³バックホウ(つかみ装置付き)にてつる草の除去を行った。

・近傍にスペースがなかったため、除草機を出張所構内に運搬・仮置きし、つる草除去作業終了後再び除草機とバックホウを入れ替える作業中、空中線(構内の電話引き込み線)及び支線をバックホウのアームで引っ掛け、車庫の壁面を破損させた。

・重機の誘導員は配置されていなかった。

・バックホウがつかみ装置付きであったため、通常よりもアームが上がった状態で走行していた。

【事故発生原因】

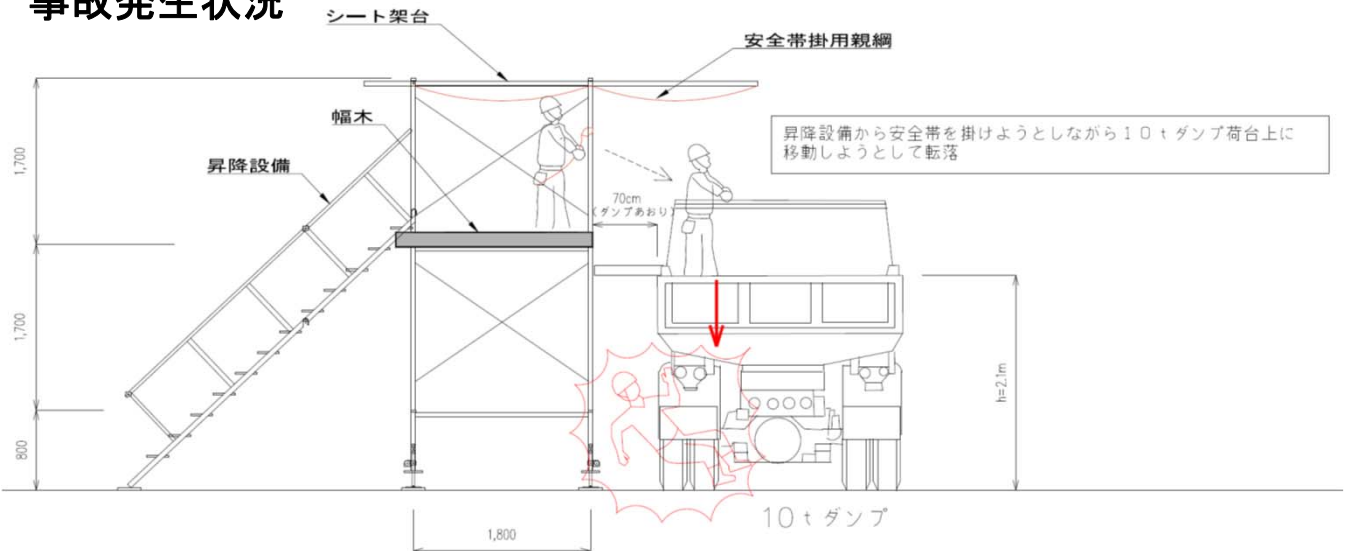
- ・架空線に対する安全管理不足など

【事故防止のポイント】

- ・作業前に現地をよく確認し、必要な安全措置(誘導員配置など)を実施するなど

発生日時	平成 25 年 9 月 25 日 (水) 15 時 35 分			天候	雨
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	59	土工	骨盤骨折	
事故概要	残土仮置場において、ダンプのシートを外すため、架台からトラック荷台に移動したところ、安全帯をかけ替えていた途中に足を滑らせて落下したものの。				
	労働災害-その他労働災害				

事故発生状況



・現場の床掘土をダンプに積込み、シートで養生して運搬し、仮置場でシートを撤去して荷降ろしをしていた。

・被災者は、シート掛外し専用架台からダンプ荷台に移ろうとして、安全帯を親綱に掛けると動作と同時に荷台に移った時に、足を滑らし荷台後方から地面に落下した。

・作業手順書では安全帯を親綱に掛けてからダンプ荷台に移る手順であった。

【事故発生原因】

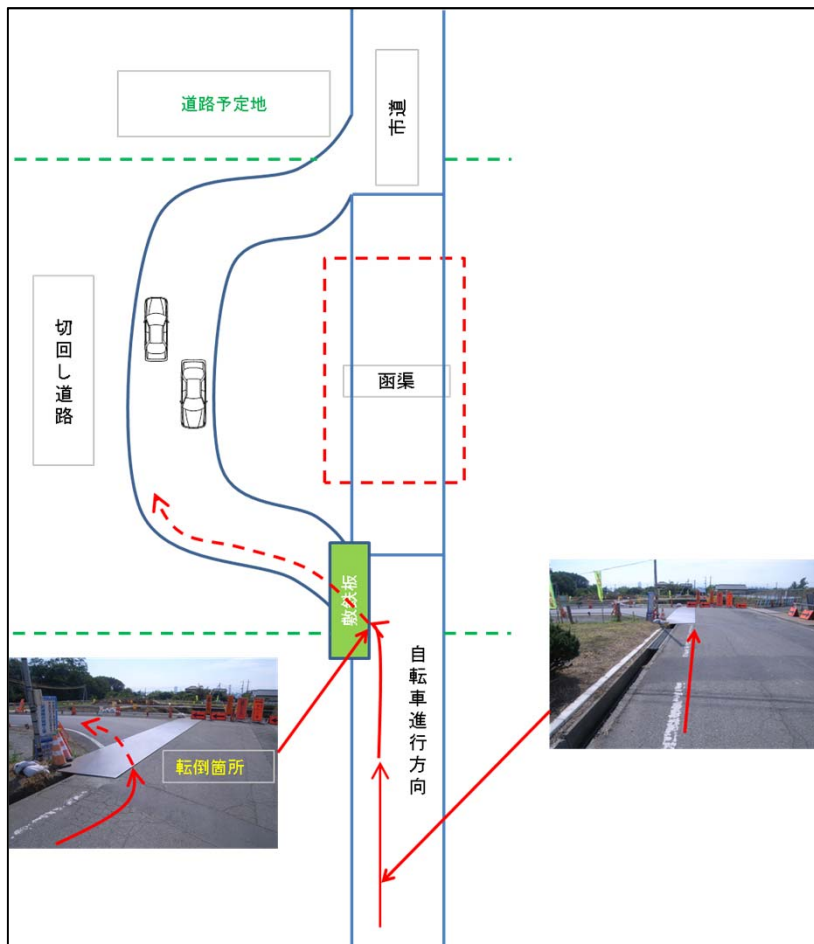
- ・作業手順書の周知・徹底不足など

【事故防止のポイント】

- ・作業手順書通りに作業を行うよう周知・徹底を行う。など

発生日時	平成 25 年 9 月 29 日 (日) 12 時 0 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	女	65	第三者
事故概要	被災の程度		
	左肩打撲		
事故概要	現場付近を自転車で通行中の被災者が、敷鉄板の角で自転車のタイヤが滑り、転倒し負傷したものの。		
	公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害		

事故発生状況

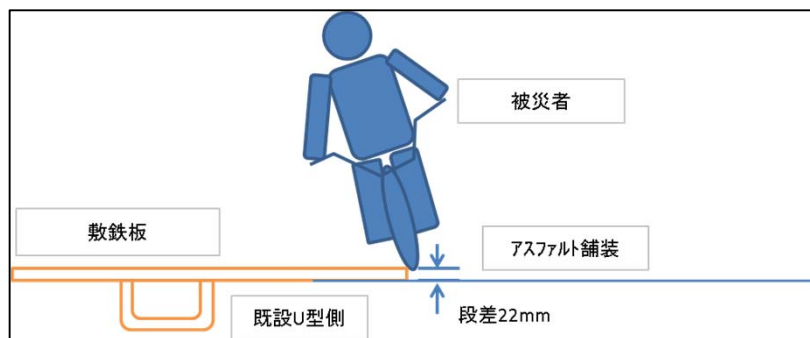


・建設する道路と交差する市道に函渠を構築する工事で、函渠構築のため、市道を切り回して供用させていた。

・市道と切り回し道路が接する部分に側溝が設置されていることから、側溝の上に敷鉄板を設置して、車両等を通していった。

・被災者は市道を自転車で走行中、切り回し道路方面にハンドルを操作したが、敷鉄板の縁で前輪が滑り、転倒し、負傷した。

・敷鉄板と路面には約2cmの段差があった。



【事故発生原因】

・周囲の路面と敷鉄板に段差があった。
など

【事故防止のポイント】

・現地をよく確認し、必要な安全措置(段差スロープの設置など)を講ずる。
など